

国立病院機構 埼玉病院小児外科は開設から5年目を迎えました。 新しい小児外科部長が赴任いたしました。

2020年4月に小児外科が開設され、今年で5年目を迎えました。本年度より前任の藤村に代わり鮫島が小児外科診療を担当いたします。全国有数の症例数を誇る兵庫県立こども病院や、神戸大大学病院でスタッフとして、鼠径ヘルニアや臍ヘルニア、停留精巣などの小手術はもとより、気道や腫瘍、新生児手術、小児鏡視下手術など多様な疾患に多数携わって参りました。また、漏斗胸に関しては日本のトップランナーである植村貞繁先生の元で診療及び手術手技に関して研鑽を積んで参りました。High Volume Centerで培ってきた経験を生かして、地域の小児外科ニーズに幅広く応えていく所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

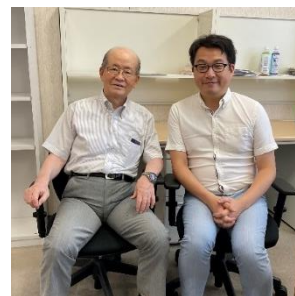


(写真 左：鮫島、右：診療支援に来ていただいている慶応大学小児外科 藤野教授)

小児外科は小児の一般・消化器・呼吸器外科で、脳、心臓以外の幅広い分野の手術を行います。2023年度の当院年間手術件数は114件で鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、包茎、虫垂炎などのcommon diseaseを中心に、腸重積や精巣捻転などの救急疾患にも対応して参りました。昨年度は先天性横隔膜ヘルニアの手術を行うなど徐々にメジャー手術にも対応できる体制が整ってきております。小手術であれば1泊2日、2泊3日入院どちらも選択することが可能です。入院日程の詳細や、術前検査などの流れは当院小児科・小児外科ホームページ内のリンクをご参照ください。

急性虫垂炎に関しては多くの症例で臍のみを使用する単孔式腹腔鏡下手術（Trans Umbilical Laparoscopic-Assisted Appendectomy：TULAA）を施行しております。また、小児鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術（Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure：LPEC）に関しても大きな既往がなければ、性別問わず1歳から対応いたします。

後任はこれまで多数の臍ヘルニア手術および臍を使った鏡視下手術に携わっており、臍形成術や臍を使った低侵襲かつ整容性に配慮した手術に力を入れております。臍ヘルニアや臍突出症で手術適応に迷われる様な症例や、なるべく小さな創で手術をしたい等の本人・親御さんの要望がありましたら、是非お気軽にご相談ください。また、舌小帯短縮症に関しては第一人者である伊藤泰雄先生に診療や手術について直接ご教授いただきました。今後、舌小帯短縮症の診療にも力を入れて参りたいと思います。



(写真：伊藤泰雄先生と)

【診療体制】

慶應義塾大学病院や国立成育医療研究センターをはじめとする日本有数のこども病院での勤務経験を持つスタッフの協力を得て治療を展開しております。当院では対応できない高度な治療については、責任を持って連携する専門医療施設をご案内します。

外来では上記疾患に加え、急な腹痛や陰嚢痛、便秘に対しても小児科や心理外来、関連各科と連携し、対応しています。当科は関連各科から頼られる診療科を目指して努力を続けております。



【小児外科で扱う主な病気】

鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、移動性精巣、包茎、急性虫垂炎、精巣捻転といった common disease をはじめ

耳前瘻、舌小帯短縮症、梨状窩瘻、正中頸のう胞、皮下軟部腫瘍、漏斗胸、気胸、嚢胞性肺疾患、胃食道逆流症、肥厚性幽門狭窄症、先天性胆道拡張症、胆道閉鎖症、小児がん、卵巣嚢腫、腸閉塞、腸重積、ヒルシュスプルング病、大腸ポリープ、直腸肛門奇形、肛門周囲膿瘍・痔瘻、便秘など

【担当医師】

職名	氏名	専門医等	コメント	外来担当
部長	鮫島 由友 さめじま よしとも	▶日本外科学会専門医▶日本小児外科学会専門医▶日本がん治療認定医機構がん治療認定医▶日本小児血液・がん学会小児がん認定外科医▶日本周産期・新生児医学会認定外科医	これまでの経験を活かして、地域の小児外科ニーズに幅広く応えて参ります。	月曜、火曜…午前、 水曜、木曜…午前・午後 ※その他の曜日にも相談に応じます
非常勤	藤野 明浩 ふじの あきひろ	▶慶應義塾大学小児外科 教授▶日本小児外科学会指導医▶日本外科学会指導医▶日本周産期・新生児医学会認定外科医▶日本がん治療認定医機構がん治療認定医▶日本小児救急医学会SIメンバー	地域小児医療の拠点として期待されている埼玉病院の小児外科診療と一緒に取り組んでいきます。	金曜…午後
非常勤	熊谷 知子 くまがい ともこ	▶慶應義塾大学小児外科 助教	こどもたちの今と未来のために全力を尽くします。	